



DISTRICT 2500 OBIHIRO ROTARY CLUB

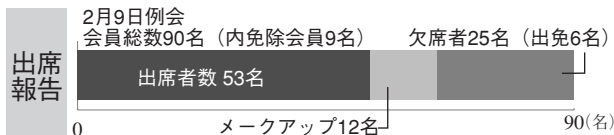
No. 2923

第3241回例会

平成23年2月23日

2010-11年度 国際ロータリーのテーマ
BUILDING COMMUNITIES
BRIDGING CONTINENTS
(地域を育み、大陸をつなぐ)

方針 **友情と信頼** 会長 後藤 裕弘



■プログラム

「十勝帯広における高齢者福祉の現状」

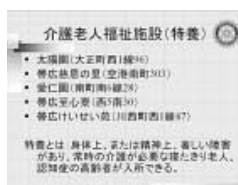
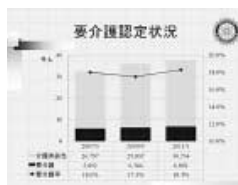
倉野 賢 会員



今日は会場が少し狭く設定されていて、皆さんとの距離が近いのでとても話しやすいです。

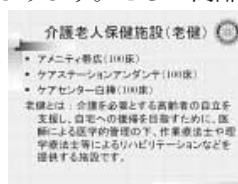
初めの15分は私からの話を聞いていただき、後半の15分はビデオを見て頂きます。今日は介護が必要になったらどのような施設があり、どのような暮らしがあるのかをお話しします。

まずは定番で、数字から。人口は17万1千人から16万8千人に減少していますが、高齢者は3万2千人から3万7千人に増加しています。率では22.3%で5人に1人が高齢者と言う事になります。その高齢者の内、介護認定を受けている数字です。1月現在、30,734人の高齢者がおり、その中の18.3%、6,892人が認定を受けています。その内訳は、軽度者（要支援と要介護1）が半数の51%。中度者（要介護2・3）が残りの半数の27%、あとは重度者（要介護4・5）の22%、約1,500人です。



では、高齢者の住まいについて見てみると、子供たちが巣立った夫婦のみの世帯が多く、次いでその後一人になった世帯。家族同居はちょっと少ないようです。これには一部が

認識ありで、必要なサービスが受けられないという事で世帯分離をして独居をしているという現実があります。では、このように夫婦世帯から単身独居世帯になった場合の暮らしはどうなるのでしょうか。元気なうちは自宅で暮らすこともできますが、やはり年と共に自立が困難になってきます。そこで、国では現在、このような事を進めています。現在あるいろいろな生活の場を一元管理しようとしています。確かにいろいろな制度を作っては複雑にしているの、この事は歓迎したいと思います。ただし、いろいろな暮らし方の選択ができるようにしておいてほしいものです。現在の住まいの種類としては大きく分けて「高齢者住宅」「有料老人ホーム」「介護保険施設」になります。さらに高齢者住宅は「高齢者向け優良賃貸住宅」「高齢者専用賃貸住宅」「高齢者円滑入居賃貸住宅」になっており、高優賃は家賃補助があります。高専賃は専用住宅が登録されており、介護以



外のいろいろなサービスがそれぞれの施設によって提供されています。高円賃は一般の住宅ですがバリアフリーなどの条件をクリアし、高齢者の入居を拒まない住宅として登録されています。今回はこのグループの一本化が計画されています。有料老人ホームには介護付きとそうでないものに分類されています。これも基準を満たせば新しい制度に組み込まれます。また、介護保険施設は「特別養護老人ホーム」と「介護老人保健施設」が代表的です。

では、帯広の介護保険施設の現状は、正確な名称で言いますと「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム＝特養)」「介護老人保健施設(老健)」「認知症対応型共同生活介護(グループホーム)」「小規模多機能型居宅介護」「特定施設入居者生活介護」に分けられます。特養では身体上、または精神上著しい障害があり、情事の介護が必要な寝たきりの老人または認知症の老人が入所できます。老健は病院から自宅に戻るまでの一時的な生活の場であり、特養のように終末期までお世話になることはできません。特養には当クラブの高橋勝坦会員が理事長を務める社会福祉法人が運営する「太陽園」が大正町にあります。老健では佐藤幸宏会員が所属する医療法人が運営する「アメニティ帯広」があります。



また、特定施設は内容、規模がそれぞれによって違いがあります。

施設はグループホームも含めて約1,000床ありますが、待機者は600名とも800名とも言われています。私たちが考えなければならないのは本来の姿である「家族介護」の実践であり、それを可能にしてくれる「外部サービス」の充実です。そこで在宅介護にチャレンジしているビデオを見て頂きます。その方は田辺鶴瑛さんと言います。講談師田辺一鶴のお弟子さんです。18歳の時実母の介護をし、31歳の時義母の介護をして、現在、義父の介護を自宅で行っています。認知症で全身マヒという特殊な状況ですが、在宅介護の様子をご覧ください。

■会長報告

後藤 裕弘 会長



皆さんこんにちは。2月も半ばを過ぎ暮らしやすくなってきました。地球温暖化のせいでしょうか、今年は氷点下20度以下になった日は観測されず、1月12日の氷点下19.4度が今シーズンの最低気温のようです。

本日2月23日はロータリーの創立記念日で、1905年、ポールハリスがロータリーを作った日があります。この日があればこそ、皆さんとこのように集う事ができ、感謝したいと思います。

先週は市内5クラブと芽室・音更を加えた7クラブの合同例会でした。

この合同例会は30年前の1980-81年度(笠井治男会長年度)に帯広クラブ、北クラブ、西クラブの3クラブがステーションホテルを会場に行ったのが始まりです。そしてアメリカ総領事に講演を頂いたそうです。単独クラブではなかなか招聘できない方でも合同という形で特別な方のお話が聞けることができると評判になり、継続されてきています。

今回は長野五輪で金メダリストになられた清水宏保さんの講演を聞かせて頂きました。喘息というハンディを背負いながら上りつめた頂点、引退後の今、大学院に入学され将来は博士になりたいという目標をもつ努力家であり、さすがは凡人とは違うと感じました。

さて、今月は「世界理解月間」であります。この時期にチュニジアから始まった「民主化デモ」が世界中に広がり、北朝鮮では核実験の準備がされているとの情報もあります。それぞれの国の事情もありましょうが、人権バランスの公平な、安心・安全で平和な明るい社会が訪れる事を祈念しています。

また、昨日のクライストチャーチの大地震ですがまだ全容が良く分かっていません。ただ直下型の地震という事で私たちも経験した昭和27年の十勝沖地震に比べて被害が大きく心配しているところです。立って歩く事ができなかった事を思い出し、心からのお見舞いを申し上げて本日の会長報告とします。

■会務報告

讃岐 武史 幹事

(1)帯広RC、第3回ロータリー情報寺小屋開催のご案内

日 時 2月23日(水) 午後6時30分
場 所 十勝ガーデンズホテル
会 費 3,000円

(2)帯広北RC、創立記念夜間例会開催のご案内

日 時 2月23日(水) 午後6時
場 所 ホテル日航ノースランド帯広
※尚、2月25日(金)の繰上げ例会といたします。

(3)帯広西RC、創立記念夜間例会開催のご案内

日 時 2月24日(木) 午後6時30分
場 所 シャレード

(4)第6分区【IM】開催のご案内

日 時 2月27日(日) 午後1時(昼食です)
※帯広RC会員の例会開始は午後0時です。
場 所 十勝川温泉 笹井ホテル
※尚、帯広南RCは2月28日(月)の繰上げ例会と致します。
帯広東RCは3月1日(火)の繰上げ例会と致します。
帯広RCは3月2日(水)の繰上げ例会と致します。
帯広西RCは3月3日(木)の繰上げ例会と致します。
帯広北RCは3月4日(金)の繰上げ例会と致します。
※当日ジャンボタクシーにお乗りになる方は11:30ノースランド前出発、帰りは、19:10笹井ホテル出発いたします。

(5)帯広RC、創立記念夜間例会開催のご案内

日 時 3月16日(水) 午後6時
場 所 ウインザー

■委員会報告

・ロータリー財団委員会

小澤 昌博 委員長



ポールハリスフェロー
河合 博 会員

・出席報告

橋枝 篤志 出席副委員長

2/23例会の報告 会員総数90名(内免除会員9名) 出席者数51名
2/9例会の報告(メークアップを含む) 出席者数65名 出席率77.4%

・ニコニコ献金

倉野 賢 会員

本日、卓話をさせていただきます。皆さんの将来のためにお話しします。

平原 隆 会員

ご心配かけましたが本日退院できました。今後ともよろしくご厚情をお願い申し上げます。

■お誕生祝い

神山恵美子 会員

■次週プログラム

2月27日「IM(都市連合)」 (理事会)

ロータリーミニ見聞情報

リチャード・キング2001-02年度RI会長が答えた20の「なぜロータリーに入会するのか?」

1.友情 2.ビジネス上の発展 3.個人的成長と発展 4.リーダーシップ開発 5.地域社会の市民たること 6.教育の継続 7.楽しみ 8.人前で話す術の養成 9.世界の市民たること 10.旅行中の援助 11.余興 12.社交術の養成 13.家族のためのプログラム 14.職業技能 15.倫理観の醸成 16.文化的意識 17.名声 18.好人物との交際 19.「公式信条」のないこと 20.奉仕する機会
ガバナー月信2月号から(詳細は<http://rid2500.com>)



↑携帯サイトができました。バーコードリーダーで読み込む事ができます。

例 会 日/水曜日 12:30~13:30

例会会場/ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創 立/昭和10年3月15日 ●認証番号/3820

●戦後再開/昭和25年12月19日

事務局/帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F
TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発 行/クラブ広報

●委 員 長/倉野 賢

安岡美樹夫・池田 雄一・佐藤 有宏・宮坂 寿文

石原由美子・清田 幸孝・後藤 利之・高見 英樹

堀江 威光

●ホームページアドレス/<http://www.obihiro-rc.jp>